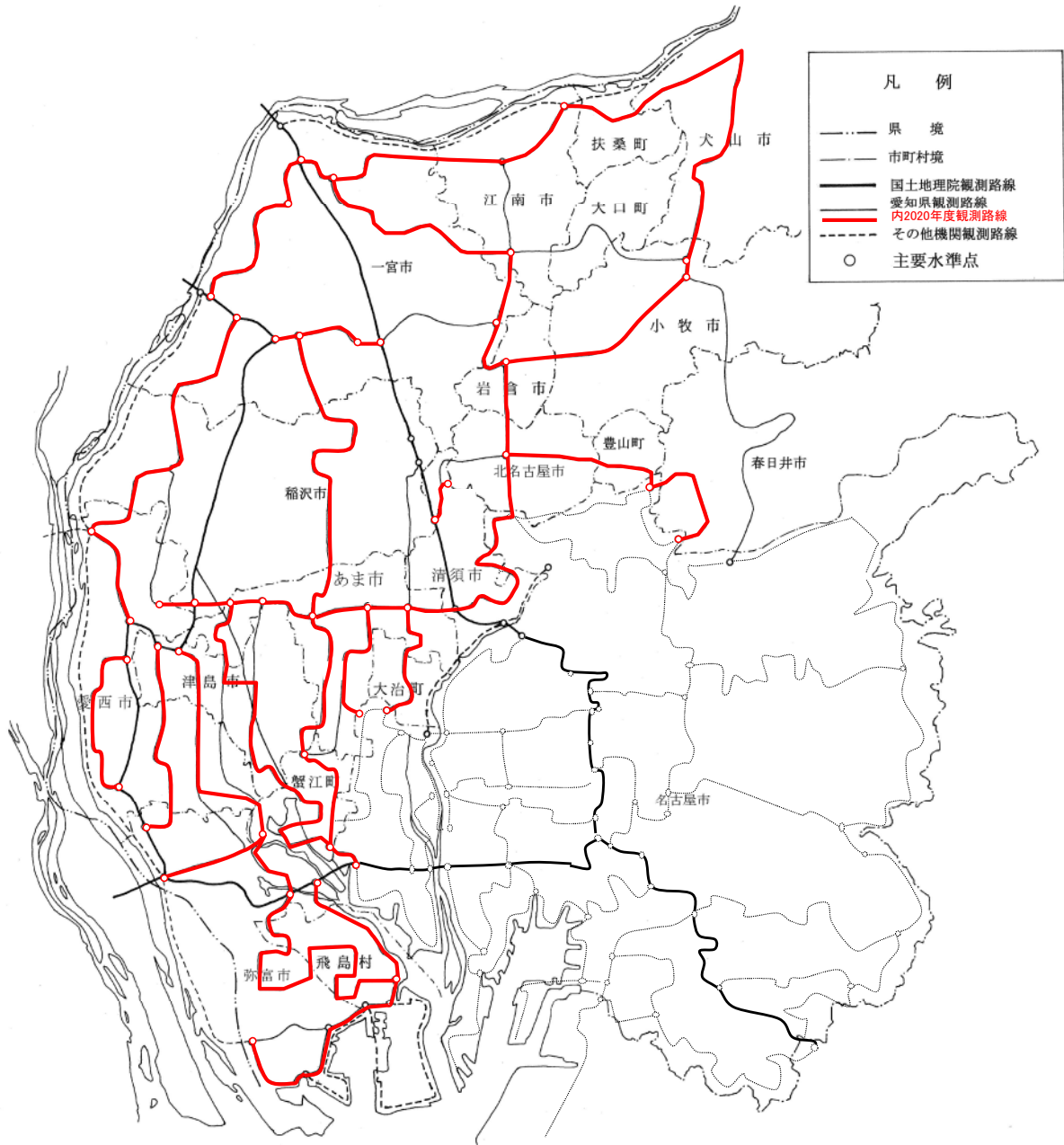


5 資 料

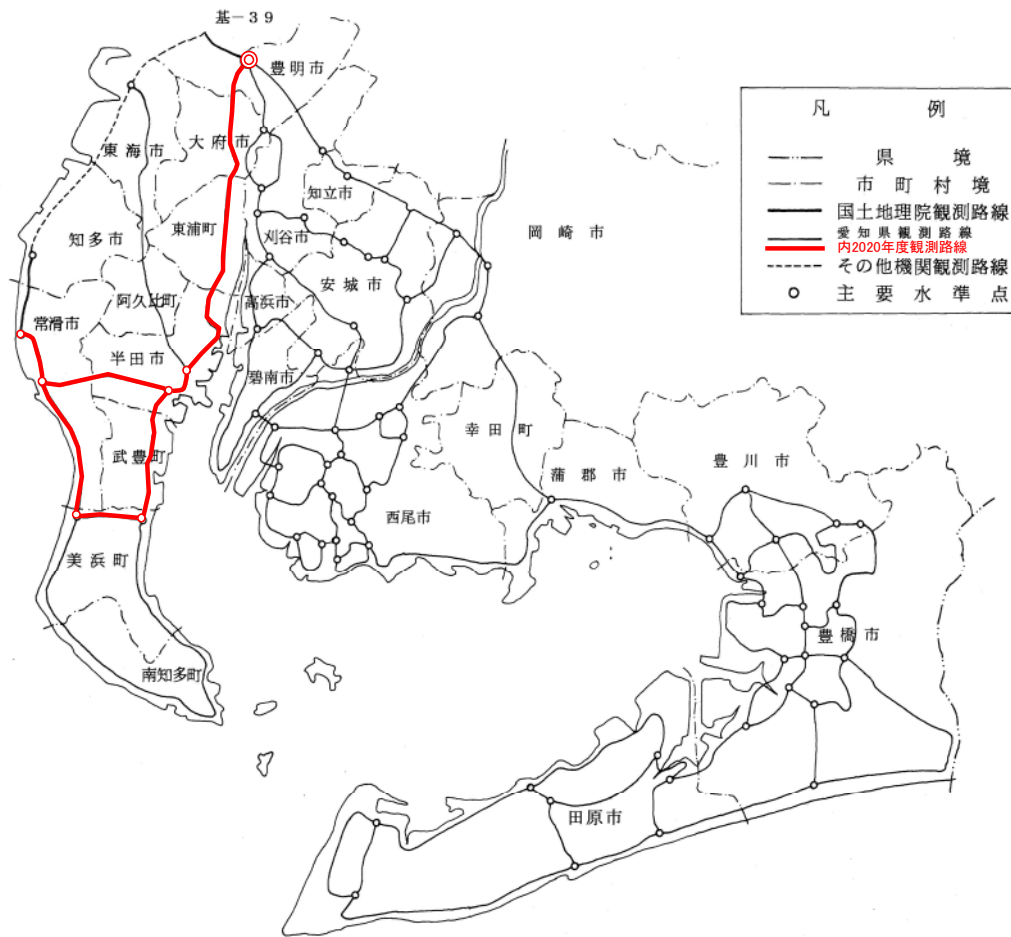
資料－1	水準測量観測路線図	
(1)	尾張・名古屋市地域	27
(2)	知多、西三河、東三河地域	28
資料－2	2020年市町村別水準点変動状況	
(1)	尾張・名古屋市地域	29
(2)	知多地域	30
資料－3	地盤沈下観測所の設置状況及び施設概要	
(1)	地盤沈下観測所の設置状況図	31
(2)	地盤沈下観測所等の施設概要	32
資料－4	2020年地下水位・地盤収縮量変動状況	
(1)	尾張地域	35
(2)	西三河、東三河地域等	37
資料－5	2020年度地下水揚水設備等の状況	
(1)	2020年度地下水揚水量の内訳	39
(2)	工業用水法及び県民の生活環境の保全等に関する条例に係る 事業所数及び井戸(揚水設備)数	40
資料－6	2020年降水量の状況	41
資料－7	西三河及び東三河地域の地盤沈下調査結果	42
資料－8	地盤沈下対策	48

資料-1 水準測量観測路線図

(1) 水準測量観測路線図 (尾張・名古屋市地域)



(2) 水準測量観測路線図 (知多、西三河、東三河地域)



資料－2 2020年市町村別水準点変動状況

(1) 2020年市町村別水準点変動状況(尾張・名古屋市地域)

市町村名	有効 水準点数	沈下 点数	変 動 量 (mm)			変 動 状 況 (点 数)			
			平 均	最大(-)	最低(+)	-2cm以上	-2～-1cm	-1未満～0cm	0cm以上
名古屋市	250 (254)	228 (186)	-2.5 (-1.7)	-6.6 (-7.7)	+2.7 (+6.1)	-	-	228 (186)	22 (68)
一宮市	44 (44)	39 (43)	-3.6 (-3.9)	-6.2 (-7.0)	+3.0 (+0.0)	-	-	39 (43)	5 (1)
春日井市	5 (5)	0 (5)	+2.7 (-3.1)	+1.1 (-4.2)	+4.4 (-1.7)	-	-	0 (5)	5 (0)
津島市	14 (14)	14 (14)	-5.4 (-7.1)	-6.6 (-9.8)	-3.3 (-5.0)	-	-	14 (14)	0 (0)
犬山市	6 (6)	0 (6)	+7.8 (-7.1)	+5.1 (-9.2)	+10.2 (-4.1)	-	-	0 (6)	6 (0)
江南市	13 (13)	1 (13)	+4.3 (-8.5)	-3.2 (-11.5)	+7.3 (-3.9)	-	0 (5)	1 (8)	12 (0)
小牧市	8 (8)	1 (8)	+2.8 (-4.0)	-0.6 (-5.1)	+5.0 (-2.1)	-	-	1 (8)	7 (0)
稲沢市	32 (32)	32 (32)	-6.1 (-4.1)	-9.2 (-9.4)	-3.6 (-1.6)	-	-	32 (32)	0 (0)
岩倉市	4 (4)	3 (4)	-2.1 (-2.6)	-3.3 (-3.6)	+0.8 (-1.8)	-	-	3 (4)	1 (0)
愛西市	56 (56)	56 (56)	-6.1 (-6.1)	-11.1 (-12.5)	-2.0 (-2.4)	-	1 (2)	55 (54)	0 (0)
清須市	12 (12)	12 (12)	-4.7 (-4.9)	-6.7 (-8.4)	-3.5 (-3.5)	-	-	12 (12)	0 (0)
北名古屋市	3 (3)	3 (3)	-2.5 (-2.9)	-3.4 (-4.0)	-1.7 (-1.4)	-	-	3 (3)	0 (0)
弥富市	41 (40)	41 (34)	-5.6 (-3.0)	-9.5 (-9.7)	-1.8 (+3.0)	-	-	41 (34)	0 (6)
あま市	18 (18)	18 (18)	-5.7 (-4.7)	-8.1 (-6.5)	-3.6 (-3.0)	-	-	18 (18)	0 (0)
豊山町	2 (2)	0 (2)	+0.4 (-1.8)	+0.2 (-1.9)	+0.5 (-1.7)	-	-	0 (2)	2 (0)
扶桑町	2 (2)	0 (2)	+8.0 (-8.5)	+7.8 (-8.6)	+8.2 (-8.4)	-	-	0 (2)	2 (0)
大治町	3 (4)	3 (4)	-4.6 (-4.6)	-5.1 (-5.4)	-4.0 (-3.6)	-	-	3 (4)	0 (0)
蟹江町	12 (12)	12 (12)	-5.1 (-4.6)	-7.3 (-6.8)	-3.0 (-2.9)	-	-	12 (12)	0 (0)
飛島村	30 (31)	29 (28)	-4.2 (-2.5)	-9.3 (-5.7)	+0.8 (+0.6)	-	-	29 (28)	1 (3)
合 計	555 (560)	492 (482)	-3.3 (-3.3)	-11.1 (-12.5)	+10.2 (+6.1)	-	1 (7)	491 (475)	63 (78)

注) ()内は、前回測量時である2019年数値。

(2) 2020年市町村別水準点変動状況(知多地域)

市町村名	有効 水準点数	沈下 点数	変 動 量 (mm)			変 動 状 況 (点 数)			
			平 均	最大(-)	最低(+)	-2cm以上	-2～-1cm	-1未満～0cm	0cm以上
半田市	11 (11)	0 (11)	+1.4 (-0.8)	+0.1 (-1.7)	+2.6 (-0.3)	- -	- -	0 (11)	11 (0)
常滑市	12 (11)	2 (7)	+0.7 (-0.3)	-0.5 (-1.2)	+2.4 (+0.4)	- -	- -	2 (7)	10 (4)
東海市	5 (5)	5 (0)	-1.4 (+1.3)	-2.1 (+0.5)	-0.9 (+1.8)	- -	- -	5 (0)	0 (5)
大府市	4 (4)	1 (1)	+0.3 (+0.1)	-0.3 (-0.4)	+0.7 (+0.7)	- -	- -	1 (1)	3 (3)
知多市	9 (8)	2 (0)	+0.4 (+1.1)	-0.9 (+0.1)	+0.8 (+2.6)	- -	- -	2 (0)	7 (8)
東浦町	6 (6)	0 (6)	+0.7 (-0.7)	+0.4 (-1.3)	+0.9 (-0.2)	- -	- -	0 (6)	6 (0)
美浜町	5 (5)	0 (5)	+3.0 (-0.8)	+2.2 (-1.3)	+3.4 (-0.2)	- -	- -	0 (5)	5 (0)
武豊町	4 (4)	0 (4)	+2.6 (-0.5)	+2.3 (-0.6)	+2.8 (-0.4)	- -	- -	0 (4)	4 (0)
合 計	56 (54)	10 (34)	+0.9 (-0.1)	-2.1 (-1.7)	+3.4 (+2.6)	- -	- -	10 (34)	46 (20)

注1) ()内は、前回測量時である2016年数値。

注2) 変動量は1年間に換算した変動量を示す。

資料-3 地盤沈下観測所の設置状況及び施設概要

(1) 地盤沈下観測所の設置状況図



凡 例	
●	地盤沈下観測所
番号の1から36は資料（地盤沈下観測所の概要）の番号を示す	
市町村名は平成23年4月現在	

凡 例	
◀・▶	県 境
—	市町村界

(2) 地盤沈下観測所等の施設概要

1) 地盤沈下観測所 (尾張地域)

番号	観測所名	所在地	水位計 (台)	沈下計 (台)	帯水層 (深度 : m)				設置年度
					G 1	G 2	G 3	不圧	
1	飛島	飛島村	3	3	50	150	300		1973年度
2	美和	あま市	4	3	40	125	300		1974年度
							10	2005年度	
3	稲沢	稲沢市	4	3	50	130	260		1975年度
							7	2010年度	
4	祖父江	稲沢市	4	3	64	135	301		1975年度
							5	2006年度	
5	十四山	弥富市	4	3	55	163	307		1976年度
							10	2005年度	
6	佐屋	愛西市	3	3	64	147	263		1977年度
7	津島	津島市	4	3	54	144.5	300		1977年度
							7	2010年度	
8	蟹江	蟹江町	4	3	59	143.5	281		1977年度
							7	2010年度	
9	江南	江南市	3				100		1977年度
						36			1978年度
							13	2018年度	
10	岩倉	岩倉市	3	1			150		1977年度
					37	54			1978年度
11	春日	清須市	3	3			150		1977年度
						27	90		
12	立田	愛西市	3	3	72	175	303		1978年度
13	甚目寺	あま市	3	3	34	106	170		1978年度
14	尾西	一宮市	3	3	40	159	200		1978年度
15	木曾川	一宮市	2			90	200		1978年度
16	豊山	豊山町	3				100		1978年度
					13	50			1979年度
17	一宮	一宮市	3		40	100	200		1979年度
18	小牧第一	小牧市	2			60	115		1979年度
19	春日井第一	春日井市	3		40	149	168		1980年度
20	春日井第二	春日井市	2			60	125		1980年度
21	小牧第二	小牧市	1		30				1980年度
22	大口	大口町	2		27		108		1980年度
23	弥富	弥富市	3	3	60	99	325		1984年度

2) 地盤沈下観測所（西三河、東三河地域）

番号	観測所名	所在地	水位計 (台)	沈下計 (台)	帯水層（深度：m）		設置年度
					浅層	深層	
24	吉良	西尾市	2	2	12	52	1976年度
25	豊橋第一 (豊橋市管理)	豊橋市	2	2	47	86	1979年度
26	豊橋第四 (豊橋市管理)	豊橋市	1			200	1979年度
27	豊橋第二 (豊橋市管理)	豊橋市	2			150	1979年度
					63		1981年度
28	小坂井	豊川市	1		58		1985年度
29	西尾第一	西尾市	2	2	12	36	1980年度
30	一色	西尾市	2	2	31	86	1980年度
31	西尾第二	西尾市	2	2	48	71	1981年度
32	碧南	碧南市	2	2	48	97	1982年度
33	岡崎第一 (岡崎市管理)	岡崎市	2	2	47	65	1982年度
34	岡崎第二 (岡崎市管理)	岡崎市	2		38	60	1983年度
35	豊橋第三 (豊橋市管理)	豊橋市	2		70	90	1984年度
36	豊川	豊川市	2		50	96	1985年度

3) 帯水層別観測機器数

区分	帯水層種別	水位計(台)	沈下計(台)
尾張	不圧	7	0
	G 1 層	19	13
	G 2 層	21	13
	G 3 層	22	14
	小計	69	40
西三河	浅層	7	6
	深層	7	6
	小計	14	12
東三河	浅層	5	1
	深層	5	1
	小計	10	2
合計		93	54

注1) G1、G2、G3層とは、濃尾平野の砂礫層を指し、地表より順に第一、第二、第三砂礫層と称し、利用可能な地下水が多く含まれる地層。

注2) 浅層と深層とは、同一観測所において2箇所のみで測定しているものの区分。

4) 他機関設置観測井一覧表

規制区域		規制区域外	
市町村名	箇所数	市町村名	箇所数
津島市	3	瀬戸市	1
稲沢市	5	尾張旭市	1
弥富市	5	豊明市	1
愛西市	7	半田市	1
あま市	2	常滑市	1
大治町	2	東海市	1
蟹江町	1	大府市	1
飛島村	2	知多市	1
一宮市	8	阿久比町	1
江南市	4	東浦町	1
岩倉市	1	南知多町	1
北名古屋市	3	美浜町	1
清須市	3	武豊町	1
扶桑町	1	岡崎市	2
大口町	1	碧南市	2
豊山町	1	刈谷市	1
春日井市	4	安城市	2
犬山市	2	西尾市	3
小牧市	2	知立市	1
		高浜市	1
		幸田町	1
		豊橋市	4
		豊川市	1
		蒲郡市	1
		田原市	1
(規制区域内計)		(規制区域外計)	
19市町村	57箇所	25市町村	33箇所
県内他機関観測井戸合計		44市町村	90箇所

5) 主要な地盤沈下観測所の観測井管頭高 (T. P.)

単位：m

観測所名	G1層	G2層	G3層	不圧層	観測基準日	観測所名	浅層	深層	観測基準日
飛島	1.48	1.43	1.48	-	2020年11月1日	吉良	2.45	2.72	2019年9月1日
十四山	-0.52	-0.52	-0.49	-0.50		西尾第一	6.52	6.55	
津島	-0.15	-0.14	-0.11	-0.26		一色	2.73	2.73	
蟹江	0.18	0.17	0.16	0.08		岡崎第一	11.68	11.68	
美和	0.88	0.93	0.94	0.80		岡崎第二	15.84	15.84	
稲沢	5.12	5.14	5.17	5.03		豊橋第一	1.84	1.83	2018年9月1日
一宮	11.04	11.05	11.04	-		豊橋第二	4.65	4.65	
江南	-	21.29	21.31	22.00	豊川	7.65	7.57		

注) - は対象井戸が無いことを示す。

資料－4 2020年地下水位・地盤収縮量変動状況

(1) 2020年地下水位・地盤収縮量変動状況（尾張地域）

1) 地盤沈下観測所観測井水位変動状況

区分		井戸数	水位上昇数	無変動	水位下降数	変動量 (m)
尾張	不圧層	7 (6)	6 (2)	1 (0)	0 (4)	0.13 (-0.02)
	G1層	19 (19)	19 (9)	0 (3)	0 (7)	0.10 (-0.02)
	G2層	21 (21)	20 (11)	0 (1)	1 (9)	0.15 (-0.04)
	G3層	22 (22)	21 (12)	0 (2)	1 (8)	0.21 (-0.04)
合計		69 (68)	66 (34)	1 (6)	2 (28)	0.15 (-0.03)

注1) ()内は、2019年数値である。

注2) 変動量は、年平均水位の前年比である。

2) 地盤沈下観測所観測井地盤収縮状況

区分		沈下計数	収縮数	無変動	膨張数	月間最大 収縮量 (mm)	年間最大 収縮量 (mm)	平均収縮量 (mm)
尾張	G1層	13 (13)	10 (11)	2 (1)	1 (0)	-3.2津島 (-4.0津島)	-1.3佐屋 (-4.2津島)	0.0 (-0.1)
	G2層	13 (13)	12 (10)	0 (2)	1 (0)	-4.0祖父江 (-4.1立田)	-4.0立田 (-4.5立田)	-0.1 (-0.1)
	G3層	14 (14)	11 (11)	0 (0)	3 (2)	-3.0甚目寺 (-2.9立田)	-2.0佐屋 (-6.4立田)	0.0 (-0.1)
合計		40 (40)	33 (32)	2 (3)	5 (2)	-	-	-

注1) ()内は、2019年数値である。

注2) G1、G2、G3層とは、濃尾平野の砂礫層を指し、地表より順に第一、第二、第三砂礫層と呼ばれ、利用可能な地下水が多く含まれる地層（被圧帯水層）である。

注3) 収縮量は、観測所内の沈下計により、地表面から各帯水層までの変動量を測定したものである。

注4) 収縮量の値は、マイナス表示が「収縮」を表し、プラス表示が「膨張」を表す。

注5) 2019年の測定数が沈下計数と異なるのは、蟹江のG1、G2、G3層の欠測によるものである。

3) 他機関設置観測井水位変動状況

区分	井戸数	水位上昇 井戸数	無変動	水位下降 井戸数	無効数	変動量 (m)
第1規制区域	28 (28)	22 (12)	1 (0)	3 (14)	2 (2)	0.06 (-0.03)
第2規制区域	23 (23)	17 (8)	0 (2)	4 (11)	2 (2)	0.28 (-0.09)
第3規制区域	6 (6)	6 (2)	0 (0)	0 (4)	0 (0)	0.48 (-0.02)
合計	57 (57)	45 (22)	1 (2)	7 (29)	4 (4)	0.19 (-0.05)

注1) ()内は、2019年数値である。

注2) 変動量は、年平均水位の前年との比較である。

注3) 無効数とは、調査対象井戸の変更等により前年との比較ができなかった井戸の数を示す。

注4) 区分については、以下のとおりである。(資料-8地盤沈下対策を参照のこと)

第1規制区域：津島市、稲沢市、弥富市、愛西市、あま市、大治町、蟹江町、飛島村、清須市の旧清洲町部

第2規制区域：一宮市、江南市、岩倉市、北名古屋市、扶桑町、大口町、豊山町、犬山市の一部、
小牧市の一部、清須市の一部

第3規制区域：犬山市の一部、小牧市の一部、春日井市

(2) 2020年地下水位・地盤収縮量変動状況（西三河、東三河地域等）

1) 地盤沈下観測所観測井水位変動状況

区分		井戸数	水位上昇数	無変動	水位下降数	変動量 (m)
西三河	浅層	7 (7)	7 (2)	0 (0)	0 (5)	0.33 (0.00)
	深層	7 (7)	6 (6)	0 (0)	1 (1)	0.29 (0.12)
合計		14 (14)	13 (8)	0 (0)	1 (6)	0.31 (0.06)

区分		井戸数	水位上昇数	無変動	水位下降数	変動量 (m)
東三河	浅層	5 (5)	3 (0)	0 (0)	2 (5)	-0.25 (-0.21)
	深層	5 (5)	3 (4)	1 (0)	1 (1)	0.07 (-0.15)
合計		10 (10)	6 (4)	1 (0)	3 (6)	-0.09 (-0.18)

注1) ()内は、2019年数値である。

注2) 変動量は、年平均水位の前年比である。

2) 地盤沈下観測所観測井地盤収縮状況

区分		沈下計数	収縮数	無変動	膨張数	月間最大収縮量 (mm)	年間最大収縮量 (mm)	平均収縮量 (mm)
西三河	浅層	6 (6)	5 (2)	1 (1)	0 (3)	-2.1岡崎第一 (-3.0西尾第二)	-2.0一色 (-1.0西尾第二)	-0.1 (0.0)
	深層	6 (6)	5 (3)	0 (0)	1 (3)	-2.5西尾第二 (-1.2碧南)	-3.5西尾第二 (-1.5吉良)	-0.1 (0.0)
合計		12 (12)	10 (5)	1 (1)	1 (6)	-	-	-

区分		沈下計数	収縮数	無変動	膨張数	月間最大収縮量 (mm)	年間最大収縮量 (mm)	平均収縮量 (mm)
東三河	浅層	1 (1)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	-0.5豊橋第一 (-0.3豊橋第一)	0.1豊橋第一 (0.1豊橋第一)	0.0 (0.0)
	深層	1 (1)	1 (0)	0 (0)	0 (1)	-0.2豊橋第一 (-0.9豊橋第一)	-0.7豊橋第一 (3.4豊橋第一)	-0.1 (0.3)
合計		2 (2)	1 (0)	0 (0)	1 (2)	-	-	-

注1) ()内は、2019 数値である。

注2) 浅層と深層とは、同一観測所において2箇所の砂礫層で測定しているものの区分である。

注3) 収縮量は、観測所内の沈下計により、地表面から各帯水層までの変動量を測定したものである。

注4) 収縮量の値は、マイナス表示が「収縮」を表し、プラス表示が「膨張」を表す。

3) 他機関設置観測井水位変動状況

区分	井戸数	水位上昇井戸数	無変動	水位下降井戸数	無効数	変動量 (m)
尾張(規制区域外)・知多地域	13 (13)	12 (3)	0 (2)	1 (8)	0 (0)	0.35 (-0.03)
西三河地域	13 (13)	11 (8)	1 (0)	0 (5)	1 (0)	0.44 (0.22)
東三河地域	7 (7)	2 (1)	1 (0)	4 (6)	0 (0)	-0.04 (-0.38)

注1) ()内は、2019 年数値である。

注2) 変動量は、年平均水位の前年比である。

注3) 無効数とは、調査対象井戸の変更等により前年との比較ができなかった井戸の数を示す。

資料－5 2020年度地下水揚水設備等の状況

(1) 2020年度地下水揚水量の内訳

単位 上段：m³/日 中段()：% 下段[]：m³/日

用途 地域		工業	水道	建築物	農業	水産	計
		規制区域	59,093 (22.0) [191,598]	164,637 (61.6) [261,010]	27,430 (10.3) [90,853]	10,052 (3.8) [52,483]	6,038 (2.3) [37,116]
規制区域外	尾張知多	41,690 (57.6)	3,915 (5.4)	21,551 (29.8)	2,301 (3.2)	2,928 (4.0)	72,385 (100.0)
	西三河	69,695 (39.2)	68,397 (38.5)	21,554 (12.1)	3,767 (2.1)	14,392 (8.1)	177,805 (100.0)
		矢作古川流域	12,083 (37.1)	5,880 (18.0)	5,197 (16.0)	1,335 (4.1)	8,093 (24.8)
	東三河	36,818 (16.5)	37,182 (16.6)	23,109 (10.3)	18,905 (8.5)	107,417 (48.1)	223,431 (100.0)
計		207,296 (28.0)	274,131 (37.0)	93,644 (12.6)	35,025 (4.7)	130,775 (17.7)	740,871 (100.0)

注1) 尾張地域は、工業用水法・県民の生活環境の保全等に関する条例の規制区域(19市町村)

注2) 尾張知多地域は、規制区域外の尾張地域(5市1町)と知多地域(5市5町)

注3) 矢作古川流域(旧幡豆町を除く西尾市)の揚水量は、西三河地域の内数。

注4) ()は、用途別の割合を示す。

注5) 尾張地域の[]は、用途別の許可量を示す。

(2) 工業用水法及び県民の生活環境の保全等に関する条例に係る
事業所数及び井戸(揚水設備)数

2021年3月31日現在

		事業所数	井戸(揚水設備)	備 考
		(カ所)	井	
工業用水法		160 (165)	209 (217)	
県 条 例	規制区域内	2,055 (2,073)	3,363 (3,384)	吐出口断面積が6cm ² 超
	規制区域外	1,614 (1,630)	3,062 (3,073)	吐出口断面積の合計が19cm ² 超 (水量測定器が必要な揚水設備)
	計	3,669 (3,703)	6,425 (6,457)	
合計		3,829 (3,868)	6,634 (6,674)	

注) () 内は、2020年3月31日時点の数値である。

資料－6 2020年降水量の状況

2020年の主要な気象観測所における月ごとの降水量及び年間降水量を資料表6－1に示す。

2020年の年間降水量については、全ての地域で平年値を上回った。

尾張地域では、8月、11月及び12月の降水量が平年値を大きく下回ったが、7月及び10月の降水量は平年値を大きく上回った。三河地域では、8月、11月及び12月の降水量が平年値を大きく下回ったが、西三河地域では、3月、7月及び10月、東三河地域では3月及び7月の降水量は平年値を大きく上回った。

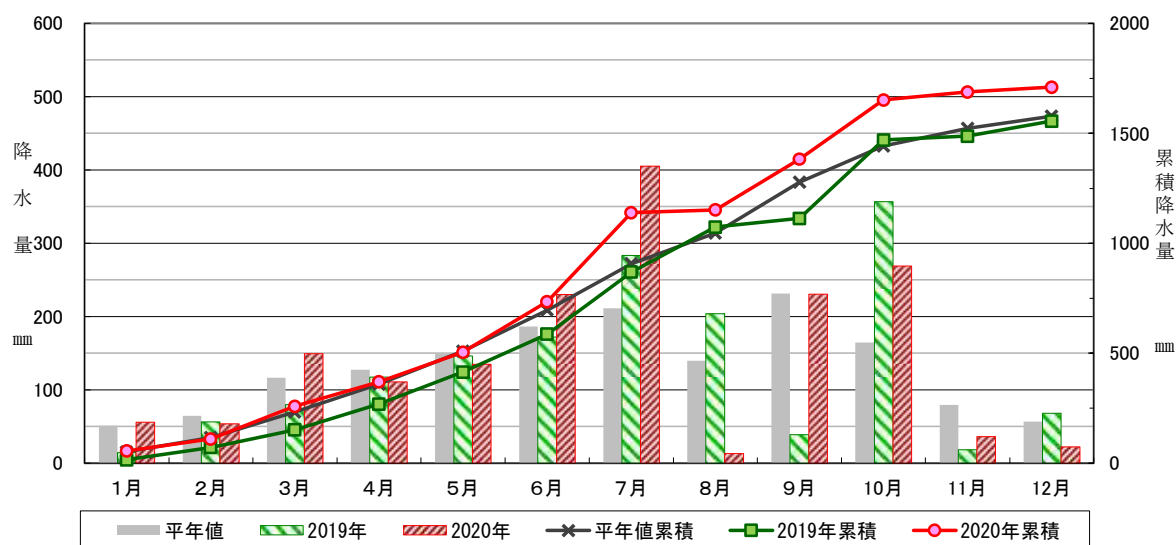
資料表6－1 気象観測所降水量

単位：mm

区分	名古屋地方気象台			一宮地域気象観測所			一色地域気象観測所			豊橋地域気象観測所		
	平年値	2019年	2020年	平年値	2019年	2020年	平年値	2019年	2020年	平均値	2019年	2020年
1月	50.8	14.5	55.5	58.2	15.0	61.0	51.4	20.0	82.5	43.8	15.5	78.5
2月	64.7	56.5	53.5	69.6	54.5	60.5	57.7	56.0	43.5	77.7	54.0	72.5
3月	116.2	80.0	149.5	120.6	74.0	118.5	109.4	75.0	198.5	123.2	65.5	214.0
4月	127.5	117.5	111.0	139.8	129.0	103.5	116.6	119.5	143.5	153.0	146.0	109.5
5月	150.3	146.0	135.0	174.0	124.5	192.0	141.0	171.5	124.5	155.4	207.0	130.0
6月	186.5	172.0	230.0	206.0	198.0	266.0	173.3	143.5	271.5	170.5	152.0	245.0
7月	211.4	283.5	405.0	233.3	345.5	519.5	156.6	295.5	608.0	169.4	293.5	503.5
8月	139.5	204.0	13.0	167.5	211.5	42.0	100.4	165.0	39.0	116.9	127.0	4.5
9月	231.6	39.0	230.5	230.4	66.5	253.0	224.8	120.0	202.0	214.3	24.5	291.0
10月	164.7	356.5	269.0	159.1	338.5	222.5	192.0	501.5	252.5	244.1	461.5	233.5
11月	79.1	18.0	36.5	82.3	14.0	42.0	78.1	33.0	29.0	83.3	43.0	34.0
12月	56.6	68.0	22.0	63.6	69.0	23.5	54.1	64.0	13.0	60.9	63.0	12.5
年間	1578.9	1555.5	1710.5	1698.1	1640.0	1904.0	1459.2	1764.5	2007.5	1612.5	1652.5	1928.5

注1) 平年値とは、1991年～2020年の平均値。

注2) 豊橋地域気象観測所は、2005年11月を境に観測場所の移転、観測方法の変更、測器の変更など、いずれかの理由により観測データがこの前後で均質でない可能性があることから、平年値がないため2010年から2019年の平均値(愛知県独自集計値)を掲載。



資料図6－1 名古屋地方気象台における月別降水量と累積降水量

資料－7 西三河及び東三河地域の地盤沈下調査結果

1 西三河地域

2020年は西三河地域で水準測量を実施していない。

西三河地域の最新の測量は2019年であり、観測結果は、前回調査が2017年であるため2年間(2017年9月1日～2019年9月1日)の変動状況である。有効水準点54点の内、沈下点は33点で沈下点数の割合は約61%となり、2017年(約91%)に比べ減少した。また1年当たりに換算して1cm以上沈下した水準点はなく、沈下域はなかった。

沈下点数の推移は資料表7-1、資料図7-1、年間地盤沈下域の面積と年間最大沈下量の推移(1975年～2019年)は資料表7-2、主要な水準点の累積変動状況は資料図7-2のとおりである。西三河地域では、1997年以降1cm以上の沈下点は観測されておらず、沈下域は1985年以降、1990年を除いて生じていない。

年間沈下量の大きい水準点は、資料表7-3のとおり西尾市吉良町吉田豊岡に設置されている水準点「A355」であり、沈下量は0.64cmであった。

また、最近6年間の累積沈下量の大きい水準点を資料表7-4に示す。最大沈下地点は西尾市吉良町大島上に設置されている水準点「32」で、2.09cm沈下している。

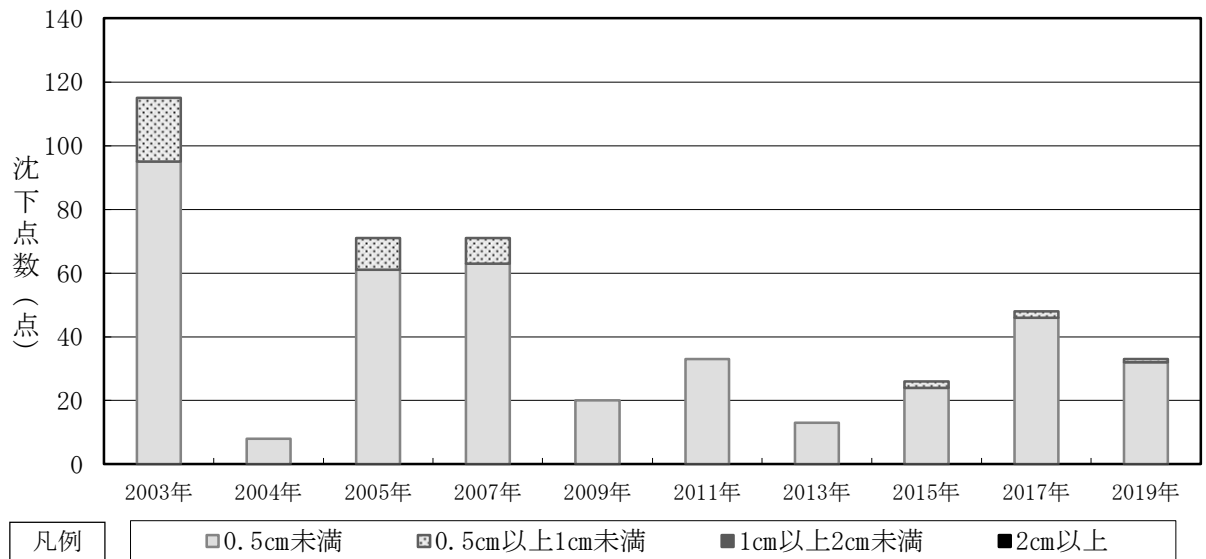
調査開始から2019年までの累積沈下量が大きい水準点は、資料表7-5、資料図7-2のとおり、西尾市吉良町白浜新田北切に設置されている水準点「A200」であり、累積沈下量は45cmとなっている。

なお、西三河地域における累積沈下量のコンター図を資料図7-3に示す。

資料表 7-1 沈下を示した水準点の数（西三河地域）

単位：点

水準点数		観測年	2003年	2004年	2005年	2007年	2009年	2011年	2013年	2015年	2017年	2019年
		有効水準点数			141	101	87	87	81	68	50	38
沈下点数	0.5cm未満		95	8	61	63	20	33	13	24	46	32
	0.5cm以上1cm未満		20	0	10	8	0	0	0	2	2	1
	1cm以上2cm未満		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2cm以上		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計		115	8	71	71	20	33	13	26	48	33



資料図 7-1 沈下を示した水準点の数（西三河地域）

資料表 7-2 年間地盤沈下域の面積と年間最大沈下量の推移
(1975年～2019年：西三河地域)

単位：km²

観測年 沈下量	1975年	1976年	1977年	1978年	1979年	1980年	1981年	1982年	1983年	1984年	1985年	1986年	1987年	1988年	1989年	1990年	1991年	1992年	1993年	1994年	1995年	1996年	1997年
1 cm 以上	0	約3	約4	—	約8	約20	約64	約9	約16	約16	約0	約0	約0	約0	約0	約4	約0	約0	約0	約0	約0	約0	約0
2 cm 以上			約0	—		約0	約10	約0	約0	約0						約0							
3 cm 以上				—		約0	約0																
4 cm 以上				—																			
最大 cm	0.7	1.6	2.3	—	1.2	3.1	3.5	2.7	2.7	2.4	1.1	1.5	1.7	1.35	1.69	2.20	1.11	0.67	1.41	0.92	1.01	1.27	0.93

観測年 沈下量	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
1 cm 以上	0	0	0	0	0	0	0	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0
2 cm 以上									—		—				—				—			—
3 cm 以上									—		—				—				—			—
4 cm 以上									—		—				—				—			—
最大 cm	0.75	0.36	0.55	0.64	0.52	0.95	0.39	0.91	—	0.83	—	0.37	—	0.26	—	0.22	—	0.36	—	0.62	—	0.64

注 1) 沈下域の面積で「約0」とは、沈下した水準点は存在するものの、沈下域の形成には至らなかったことを示している。また、「0」とは、沈下した水準点も存在しないことを示している。

注 2) 1978年、2006年、2008年、2010年、2012年、2014年、2016年は測量を実施していない。1979年、2007年、2009年、2011年、2013年、2015年、2017年、2019年の最大cmは、1年間に換算した変動量を示す。

資料表 7-3 年間沈下量の大きい水準点（西三河地域）

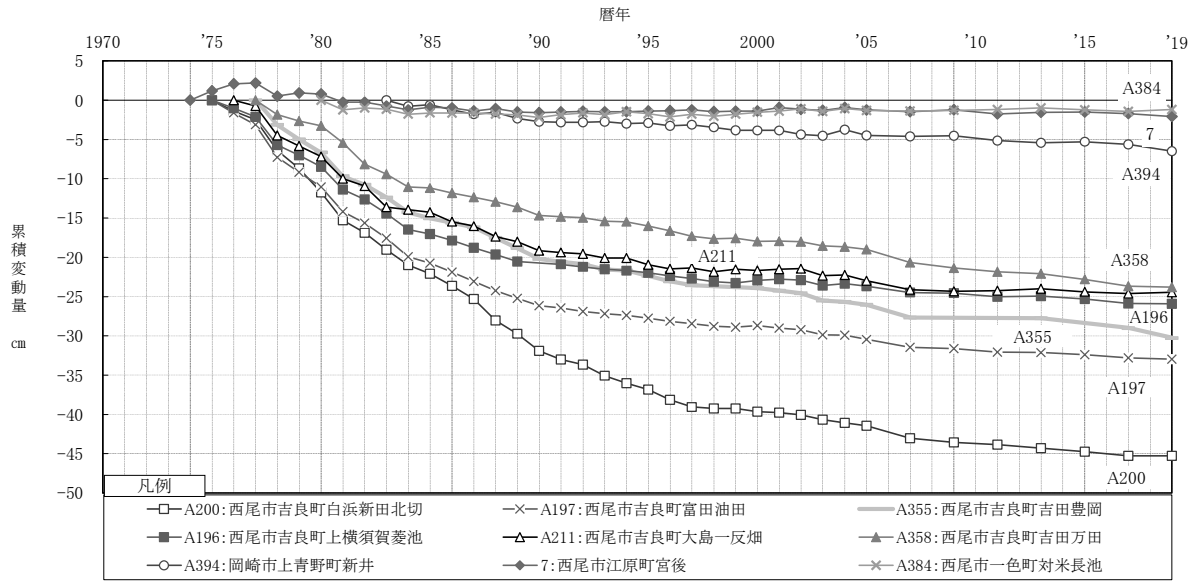
水準点番号	所在地	沈下量(cm)
A355	西尾市吉良町吉田豊岡	0.64
A394	岡崎市上青野町新井	0.43
869	岡崎市下青野町天神	0.40
A-4	岡崎市福桶町宮越	0.36
4074	西尾市須田町	0.24

資料表 7-4 最近6年間の累積沈下量の大きい水準点（2013年9月～2019年9月：西三河地域）

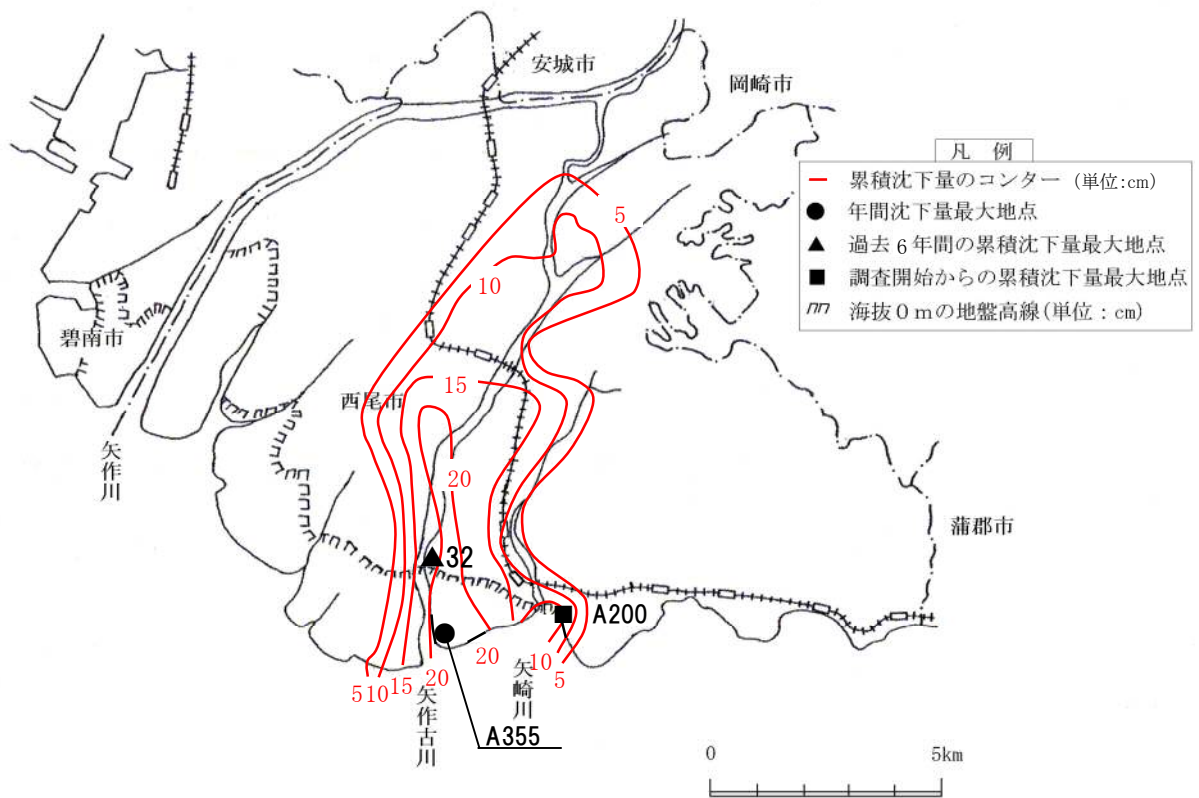
水準点番号	所在地	沈下量(cm)
32	西尾市吉良町大島上	2.09
A358	西尾市吉良町吉田万田	1.70
A388	西尾市一色町細川四番割下	1.12
A394	岡崎市上青野町新井	1.07
A200	西尾市吉良町白浜新田北切	1.00

資料表 7-5 累積沈下量の大きい水準点（調査開始年～2019年9月：西三河地域）

水準点番号	所在地	沈下量(cm)	標高T.P.(m)	調査開始年
A200	西尾市吉良町白浜新田北切	45	+ 1.0171	1975年
A197	西尾市吉良町富田油田	33	+ 1.2413	1975年
A355	西尾市吉良町吉田豊岡	30	+ 3.9325	1977年
A196	西尾市吉良町上横須賀菱池	26	+ 2.2364	1975年
A211	西尾市吉良町大島一反畑	24	+ 0.0774	1976年



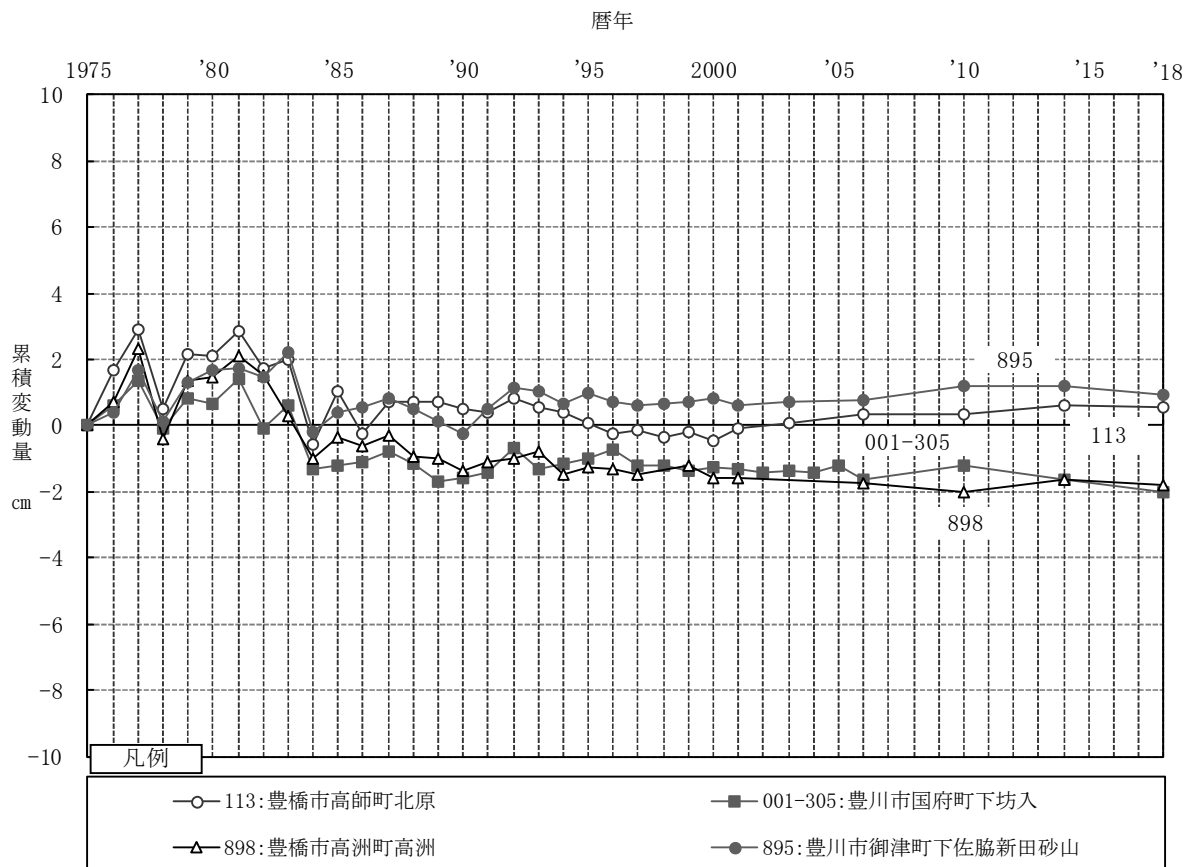
資料図 7-2 主要な水準点の調査開始からの累積変動状況 (西三河地域)



資料図 7-3 累積沈下量のコンター図 (1975年~2019年: 西三河地域)

2 東三河地域

2020年は東三河地域で水準測量を実施していない。最新の測量は2018年であり、2018年までの主要な水準点の累積変動状況は資料図7-4のとおりである。



資料図7-4 主要な水準点の調査開始からの累積変動状況 (東三河地域)